

平成28年10月20日

会員各位

(一社)宮城県臨床検査技師会
会長 大森 智子
(公印省略)

学術研修会のご案内

謹啓

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度 宮臨技学術部では基礎的な内容をテーマとした総合的な研修会を企画しました。

第1回目は対人業務にスポットを当て、採血、生理検査における諸問題を皆様とともに考えていきたいと思ひます。

この研修会は、新規入職者の方、テーマ分野にローテーション直後ないし予定の方に適した研修会ではありますが、どなたでも気軽に参加して活発なご討論をお願いします。多数の参加をお待ちしております。

謹白

記

研修会名： 「 第1回宮臨技ベーシックセミナー 」

テーマ：スキルアップ！ 対人業務

会場 ： 仙台市急患センター 2階ホール

〒984-0806 宮城県仙台市 若林区舟丁 64-12
地下鉄河原町駅下車、北1出口から徒歩3分
(旧国道を挟んで向かい側になります)
公共交通機関をご利用ください。

日時 ： 平成28年12月10日(土)

14:00～17:10(受付13:30～)

プログラム

14:05～14:35 「臨床検査技師が取得できる認定資格」

大崎市民病院 大柳政一（宮臨技副会長）

14:40～15:10 「臨床検査技師のリスクマネジメントについて」

仙台赤十字病院 佐藤 誠（宮臨技副会長）

15:20～16:10 アジェンタ① 採血

「採血は検体検査の入り口・採血室は病院の顔」

臨床検査技師の業務には、主に検体検査、生理学的検査、検体採取等がある。

中でも血液を扱う臨床検査において、その正確な結果報告には、適切に施行された採血が不可欠である。また、採血は医師・看護師以外の医療スタッフでは、臨床検査技師のみが実施可能な業務であり、そのニーズは年々高まってきている。

今回のセッションは、検体検査の入り口でもある採血と、さらにはその採血業務における患者とのコミュニケーションの取り方等にフォーカスを当て、これから採血業務に携わる方はもとより、現在既に従事されている方々が抱えている問題解決の場にしたい。

東北大学病院 鈴木 宏（宮臨技理事）

16:20～17:10 アジェンタ② 生理検査

「生理検査室のリスクマネジメント

検査中に心・血管イベントが起きたらどうしますか？」

皆さんは検査中にヒヤリ…ハッとなった経験はありますか？

今回は負荷心電図で経験した事例を報告しながら、あなた自身がとりうる最適なマネジメントは何か？を皆様と一緒に考えていきたいと思います。

宮城県立循環器・呼吸器病センター 石川 和浩（宮臨技理事）

17:10 終了予定

参加費：会員500 円 非会員1,500円（学生無料:学生証を提示願います。）

日臨技生涯教育認定：基礎20点（必ず技師会会員証をご持参ください）

問い合わせ：宮城県立循環器・呼吸器病センター 臨床検査技術部

石川 和浩

TEL 0228-38-3151 内線 130 ishikawa-ka755@miyagi-pho.jp